

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】 特表 2004-534103 (P2004-534103A)
 【公表日】 平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)
 【年通号数】 公開・登録公報 2004-044
 【出願番号】 特願 2003-512710 (P2003-512710)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 9/06 (2006.01)
A 6 1 K 47/32 (2006.01)
A 6 1 K 47/36 (2006.01)
A 6 1 K 47/46 (2006.01)
A 6 1 P 5/50 (2006.01)
G 0 1 N 11/14 (2006.01)
A 6 1 K 38/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/06
 A 6 1 K 47/32
 A 6 1 K 47/36
 A 6 1 K 47/46
 A 6 1 P 5/50
 G 0 1 N 11/14 B
 A 6 1 K 37/26

【手続補正書】
 【提出日】 平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

互いに可逆的に結合してゲルを形成する第一及び第二のゲル形成成分を含んだゲル組成物であって、前記結合が分析物のレベルに対して感受性を有し、前記ゲル形成成分が共重合されている、ゲル組成物。

【請求項 2】

前記第一の成分が互いに結合するとゲルを形成する高分子であり、前記第二の成分が前記高分子の少なくとも一部に結合してこのような結合を与える分子である、請求項 1 に記載のゲル組成物。

【請求項 3】

前記第二の成分がレクチンであり、前記第一の成分が前記レクチンに結合するゲル形成高分子である、請求項 1 または 2 に記載のゲル組成物。

【請求項 4】

前記第一の成分がデキストランであり、前記第二の成分がコンカナバリン A である、請求項 3 に記載のゲル組成物。

【請求項 5】

半透膜又は透過膜と組み合わせられた、先行する全請求項のうちの何れか 1 項に記載のゲル組成物。

【請求項 6】

先行する全請求項の何れか 1 項に記載のゲル組成物と薬物とを備えた薬物送達システムであって、前記薬物が、(a) 前記ゲル組成物の中に含有されているか、又は (b) 前記ゲル組成物を備えた貯蔵部の中に含有されており、この場合の該ゲル組成物は前記貯蔵部と前記薬物が放出されるべき領域との間の境界を成している、薬物送達システム。

【請求項 7】

分析物のレベルを検出するためのセンサーであって、請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載のゲル組成物と、該ゲルの粘度を検出するための手段とを備えたセンサー。

【請求項 8】

活性物質を経皮投与するための薬学的組成物であって、(a) 前記活性物質を含有する担体を備えるか、又は (b) 前記活性物質と前記活性物質が放出されるべき領域との間に障壁を形成する担体を備え、該担体の少なくとも一部は 1 以上の皮膚酵素によって消化されることができ、該酵素の作用によって前記活性物質が前記組成物から放出される薬学的組成物。

【請求項 9】

医薬、特に活性物質を経皮投与するための、活性物質に共有結合した担体を含む組成物であって、前記担体と前記活性物質との結合が 1 以上の皮膚酵素によって消化され得ることを特徴とする組成物。